

2023年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年7月14日

上場会社名 株式会社協和コンサルタンツ 上場取引所 東  
 コード番号 9647 URL http://www.kyowa-c.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員統括本部 経営管理室長 (氏名) 黒瀬 雅弘 (TEL) 03-3376-3171  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )  
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第2四半期の連結業績(2022年12月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	4,229	△1.6	486	2.1	477	2.1	320	7.8
2022年11月期第2四半期	4,298	—	475	—	468	—	297	—

(注) 包括利益 2023年11月期第2四半期 313百万円(△4.3%) 2022年11月期第2四半期 327百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第2四半期	547.86	—
2022年11月期第2四半期	508.12	—

当社グループは2022年11月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しております。これに伴い2022年11月期第2四半期については対前期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第2四半期	7,054	3,383	45.5
2022年11月期	7,130	3,094	40.8

(参考) 自己資本 2023年11月期第2四半期 3,212百万円 2022年11月期 2,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年11月期	—	0.00	—	—	—
2023年11月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日~2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	0.7	600	9.8	580	5.5	340	4.8	581.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期2Q	586,100株	2022年11月期	586,100株
② 期末自己株式数	2023年11月期2Q	1,298株	2022年11月期	1,253株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期2Q	584,802株	2022年11月期2Q	584,847株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇や海外経済の減速による下振れが懸念されるものの、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和が進み、個人消費やインバウンド需要の回復など、経済活動の正常化が進みました。

一方、建設コンサルタント業界は、国内業務においては、当第1四半期に続き、社会インフラの点検・補修・補強業務などの防災・減災、国土強靱化関連の需要に加え、防衛力の抜本的強化に向けた「防衛力整備計画」に基づく防衛施設整備関連の需要が増加したこともあり、安定した市場環境にありました。他方、情報処理事業においては、顧客の需要は変わらないものの、価格競争が益々激化している関係で同事業の受注高が前年同期比で減少いたしました。

このような状況下、当社グループは、営業面においては、通期業績予想の達成に必要な受注量の確保を最優先とする営業活動を展開いたしました。また、生産面においては、各技術部門の連携を更に深化・発展させて生産性向上と生産コストの縮減に努めたことに加え、一般管理費についてもコストを縮減することで、連結営業利益で期初予想を上回る成果を上げることができました。

そのほか、再生可能エネルギー関連の取り組みとしては、小水力発電への注目の高まりとともに、小水力発電に関するエネルギー賦存量調査や事業性評価などの引き合いが増えており、引き続き地産地消型の小水力発電に関する取り組みを進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高4,510百万円（前年同期比3.8%減）、売上高4,229百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益486百万円（前年同期比2.1%増）、経常利益477百万円（前年同期比2.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益320百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

以上により、当社グループは、現段階において、2023年1月に開示した業績予想に対する進捗は順調に推移しているものと判断しております。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（建設コンサルタント事業）

主力事業であります建設コンサルタント事業は、受注高3,255百万円（前年同期比1.8%減）、売上高3,425百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益575百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

（情報処理事業）

情報処理事業は、受注高1,253百万円（前年同期比8.8%減）、売上高801百万円（前年同期比7.6%減）、営業損失21百万円（前年同期は営業利益44百万円）となりました。

（不動産賃貸・管理事業）

不動産賃貸・管理事業は、当社子会社が主に連結グループ内企業に対してサービスを提供している事業で、受注高2百万円（前年同期比12.1%増）、売上高2百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益16百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

（注）上記セグメント別の受注高及び売上高は、外部顧客に対する受注高及び売上高のみを表示しております。セグメント別の営業利益は、外部顧客に対する額に加え、セグメント間の額を含めて表示しております。内部売上高を含む詳細につきましては、[セグメント情報]をご参照下さい。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円減少し、7,054百万円となりました。これは受取手形・完成業務未収入金及び契約資産等が660百万円減少した一方、現金及び預金が603百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ365百万円減少し、3,670百万円となりました。これは短期借入金700百万円減少した一方、契約負債が276百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ289百万円増加し、3,383百万円となりました。これは当四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益を320百万円を計上したこと等により利益剰余金が302百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2023年1月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,614,169	4,217,219
受取手形・完成業務未収入金及び契約資産等	1,835,492	1,174,994
未成業務支出金	44,120	46,266
その他	98,177	79,207
流動資産合計	5,591,960	5,517,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	132,743	128,932
土地	526,435	526,435
その他（純額）	96,275	90,393
有形固定資産合計	755,455	745,761
無形固定資産	136,894	127,925
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	12,415	11,205
その他	671,365	689,874
貸倒引当金	△38,040	△38,040
投資その他の資産合計	645,740	663,039
固定資産合計	1,538,090	1,536,726
資産合計	7,130,050	7,054,414
<b>負債の部</b>		
流動負債		
業務未払金	260,265	340,394
短期借入金	1,500,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
契約負債	539,027	815,030
未払法人税等	231,487	193,408
受注損失引当金	4,846	4,846
その他	587,313	591,795
流動負債合計	3,522,941	3,145,475
固定負債		
役員退職慰労引当金	178,598	187,586
退職給付に係る負債	286,055	294,850
その他	48,356	42,771
固定負債合計	513,010	525,208
負債合計	4,035,951	3,670,684

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	1,637,105	1,939,949
自己株式	△2,411	△2,411
株主資本合計	2,884,694	3,187,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,001	20,384
退職給付に係る調整累計額	9,817	4,908
その他の包括利益累計額合計	24,818	25,293
非支配株主持分	184,585	170,898
純資産合計	3,094,098	3,383,730
負債純資産合計	7,130,050	7,054,414

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)
売上高	4,298,442	4,229,489
売上原価	3,169,328	3,087,930
売上総利益	1,129,114	1,141,559
販売費及び一般管理費	653,289	655,551
営業利益	475,824	486,008
営業外収益		
受取利息及び配当金	548	648
受取家賃	4,448	4,380
雇用調整助成金	164	-
その他	3,186	3,874
営業外収益合計	8,347	8,902
営業外費用		
支払利息	15,864	15,235
その他	-	1,727
営業外費用合計	15,864	16,962
経常利益	468,307	477,948
税金等調整前四半期純利益	468,307	477,948
法人税、住民税及び事業税	257,455	172,265
法人税等調整額	△99,380	△7,302
法人税等合計	158,075	164,963
四半期純利益	310,232	312,984
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13,058	△7,403
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,173	320,387



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	310,232	312,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,733	5,383
退職給付に係る調整額	11,420	△4,908
その他の包括利益合計	17,153	474
四半期包括利益	327,385	313,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,327	320,862
非支配株主に係る四半期包括利益	13,058	△7,403

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(国内) 調査・設計及び施工管理サ ービス	3,304,092	—	—	3,304,092	—	3,304,092
(国内) 情報処理サービス	—	320,884	—	320,884	—	320,884
(国内) 人材派遣等のサービス	—	546,739	—	546,739	—	546,739
(海外) 調査・設計及び施工管理サ ービス	124,843	—	—	124,843	—	124,843
顧客との契約から生じる収 益	3,428,935	867,623	—	4,296,559	—	4,296,559
その他の収益	—	—	1,883	1,883	—	1,883
外部顧客への売上高	3,428,935	867,623	1,883	4,298,442	—	4,298,442
セグメント間の内部売上高	—	33,224	28,860	62,085	△62,085	—
計	3,428,935	900,848	30,744	4,360,527	△62,085	4,298,442
セグメント利益	491,856	44,981	17,705	554,543	△78,718	475,824

(注) 1 セグメント利益の調整額△78,718千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設コンサル タント事業	情報処理事業	不動産賃貸・ 管理事業	計		
売上高						
(国内) 調査・設計及び施工管理サ ービス	3,329,735	—	—	3,329,735	—	3,329,735
(国内) 情報処理サービス	—	237,415	—	237,415	—	237,415
(国内) 人材派遣等のサービス	—	564,272	—	564,272	—	564,272
(海外) 調査・設計及び施工管理サ ービス	95,955	—	—	95,955	—	95,955
顧客との契約から生じる収 益	3,425,690	801,688	—	4,227,378	—	4,227,378
その他の収益	—	—	2,111	2,111	—	2,111
外部顧客への売上高	3,425,690	801,688	2,111	4,229,489	—	4,229,489
セグメント間の内部売上高	2,288	29,080	28,860	60,229	△60,229	—
計	3,427,978	830,768	30,971	4,289,719	△60,229	4,229,489
セグメント利益又は損失	575,795	△21,056	16,329	571,068	△85,060	486,008

(注) 1 セグメント利益の調整額△85,060千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。